

内浦公民館講座

うちうらレモンの活用術教室



令和 6 年 3 月 2 日 (土)

内浦公民館 2 階調理実習室で【うちうらレモンの活用術教室】を開催しました。講師は森川さおりさん。うちうらレモンの砂糖漬けとレモン寿司、レモンとかぶのお漬物を作りました。初めにレモンの効能を教えてくださいいただいた後、調理を始めました。レモンを輪切りにしたり、細かく切ったり火を使わずに手軽に出来るので、皆さん楽しみながら作る事が出来ました。今日のメニューの他にもドレッシングやポン酢の作り方も紹介していただきました。うちうらレモンを使った料理の幅がひろがりましたね(*^^*)

ヨガ教室<3回シリーズ>



令和 6 年 3 月 3 日 (日)

内浦公民館 2 階多目的ホールで【ヨガ教室】を開催しました。今回は<3回シリーズ>で、他に 3 月 10 日 (日) と 16 日 (土) に行いました。講師は、アプリットサンマイル (Rina) さん。ヨガの基本と体の動きを分かり易く指導していただきました。呼吸を意識しながら、無理なく全身をほぐす事が出来て好評でした。

【ヨガ教室】は今後も継続して開催する予定です。興味のある方はぜひご参加ください。

●開館時間 午前 8 時 30 分～午後 1 0 時 ●利用時間 午前 9 時～午後 9 時 30 分 (夜間利用が無い場合は午後 5 時で閉館いたします)

<5月の休館日> 5月6日(月)・13日(月)・19日(日)・20日(月)・27日(月)



第4講 ~日引石から見た中世の石造物概説~

令和6年3月9日(土)



日引石の狛犬



内浦公民館会議室で、【ぐる~っと!内浦】を開催しました。講師は、福井県埋蔵文化財調査センターの赤澤徳明さん。石造物専門家の赤澤さんに中世の時代から見た日引石について教えていただきました。日引石の石造物は高浜町内、若狭地方はもちろん北は青森、南は長崎県五島列島まで幅広い場所で見つっています。高浜町郷土資料館所蔵の狛犬(写真)は一風変わっていて、参加者の皆さん珍しがっておられました。身近な場所で日引石が見つかるかもしれませんね。

地域ニュース

高浜町陸上競技協会主催

第2回 青葉山トレイルマラソン



令和6年3月17日(日)

内浦公民館をスタート・ゴールとして【青葉山トレイルマラソン】が開催されました。内浦公民館の玄関前で開会式を行い、出発前に撮ったのが、この集合写真です。ランナーとスタッフ、来賓の皆さんが集まりました。去年の第1回から炊き出しをしているのが【日引ふれあい広場】農家食堂『しおかぜ』で調理をされている皆さんです。炊き込みご飯のおにぎりとお肉汁を提供されました。温かい食事に「これを楽しみにしていました!」と言って受け取られていましたよ(*^^*)





館長の《こーひーぶれいく》No.108



今回は 映画「落下の解剖学」です。

第76回カンヌ国際映画祭のパルムドールを受賞し、2024年アカデミー賞で作品賞を受賞した「落下の解剖学」を観ました。真実とは何か。あなたに真実は見えているのか。観終わったあとの結論は観客の想像に委ねられ、色々な観点から考えられます。

人里離れた雪深い山荘で、著名な作家サンドラの夫のサミュエルが家から転落死しているのを11歳の息子ダニエルが発見する。ダニエルには視覚障害があり、いつも盲導犬スヌープと一緒に行動していた。これは事故なのか、自殺か、他殺か。起訴されたサンドラは古くからの友人ヴァンサンに弁護を依頼する。法廷の中で少しずつ家族の秘密があらわになっていく。

作家として成功しているサンドラと自分の仕事が行かなく息子の面倒を見ることに時間を費やしているサミュエルは夫婦の役割をめぐり口論が絶えない。サミュエルは家事や育児、夫のケアも妻の果たすべき役割と考えているが、サンドラはそれは押し付けられたものであり、より自由な存在であるべきと考えている。サンドラはバイセクシャルで性に対しても奔放である。

サミュエルは仕事が行かなく生活苦から解放されるために、山荘で民宿を営もうと家族を説得して山奥に移り住んできた。視覚障害になったダニエルの事故は自分の責任だと思い悩んでいる。

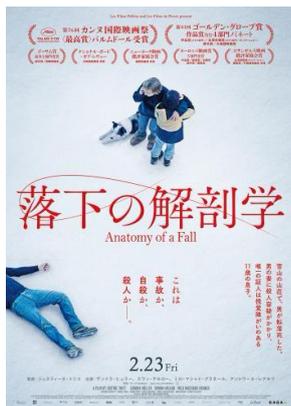
ダニエルは障害者として生活しているが、決して盲目ではない。視力が弱く程度は明らかにされない。夫婦関係を困難にしている要因として、言語の問題があり、妻はドイツ人、夫はフランス人。会話は母国語でなく、英語で会話をしている。

直接証拠がない中で、サンドラの過去が暴かれ、裁判はサンドラに不利に傾いていく。「私は殺していない」というサンドラに「重要なのはそこではない、君がどう思われるかだ」という弁護士のセリフ。限られた情報をどのように見せるか。どのように話すかで相手に印象操作できるかが必要なのだ。

鍵を握るのは息子のダニエル。証人として裁判に引き出され、自分の知らないところでの父母の悩みや確執、埋めがたい溝を知ってしまう。

「何が真実かわからない時は、心で真実を決めるしかない」裁判の行方を決定づけるとも思われる言葉のある人物から受け、ダニエルは心を決める。そして父親の自殺を示唆する過去の言葉を振り返り、法廷で証言する。それによってサンドラの無罪を勝ち取ることになる。

この映画は、ほとんどが法廷内での場面が描かれ、一部はフラッシュバックの映像が出るが、重要な場面はレコーダーの音声（夫が録音していた）だけで、観客が想像するしかない。法廷は物証や状況証拠から実際に何が起きたのかを類推し、蓋然性（それが起こる確率が高い）を証明する場であって、真実を究明する場ではないことを描いているのです。結末が解らない場合、私たちはどの情報によって真実を導き出そうとするのか。ひとつの事から判断せず様々な方面から物事を見ているだろうか。それを問われている作品なのです。



この映画でおそらく真実を知っているのは盲導犬のスヌープだけなのかもと思わされます。

無罪を勝ち得て、疲れて帰ってきてソファに倒れ込むサンドラ。そこへ『スヌープが来て添い寝』するのです。犬と彼女のシーンは一度もなかったのに、監督の意図が解ったような気がしました。

多肉植物寄せ植え教室

令和6年3月20日(水・祝)



あおば憩いの家で、出張講座として【多肉植物寄せ植え教室】を開催しました。講師は、大角由香里さん。初めに、好きな形の寄せ植え用ポットを選びました。多肉植物に適した土をポットに詰めて、たくさんの多肉植物の中でも、大きいサイズから植えていきました。大角さんから、水やりについての注意事項を聞いたり、質問したり、楽しみながら自分だけの可愛い寄せ植えを、仕上げました。これからの成長も楽しみです☀

祝 町道柿ヶ渡新線開通式典

令和6年3月28日(木)

内浦公民館階多目的ホールで、柿ヶ渡新線開通式典が盛大に行われました。柿ヶ渡新線は高浜町宮尾から高浜町山中間の1,003mの道路です。式典の後は柿ヶ渡新線に移動して祭典が行われました。



* 4/8 (月) に柿ヶ渡新線を歩いた内浦公民館講座【春のハイキング】は Artfull うちうら 5 月号で詳しく紹介します！

転任のご挨拶



この度、4月の異動で、高浜町認定こども園 cocokara に勤務する事になりました。

この3年間、住民の皆様にはお世話になり本当にありがとうございました。豊かな自然の中でのびのびと過ごさせていただき、毎日がとても楽しく、朝はウキウキワクワクしながら通いました。名残惜しい気持ちでいっぱいですが、今後どんどん重要になってくる自然が豊富で、歴史の深い内浦地区をアピールしていきたいと思えます。

【認定こども園 cocokara 主幹保育教諭 山本尚美】

新任のご挨拶



この度の人事異動で、保健福祉課から内浦公民館に勤務させていただくことになりました時岡裕之（ときおかひろゆき）と申します。

保健福祉課では高齢者福祉の担当をしていて、昨年度の内浦地区敬老会にも参加させていただき、皆さんの元気で明るい笑顔が印象に残っています。毎朝通勤の途中で見る景色は自然に満ち溢れていて、山から海にかけての美しい景色に感動しており、内浦地区の皆さんの元気の源につながっているのではないかと感じます。

内浦地区については、自然や歴史、文化など魅力的な部分がたくさんあると思いますので、地域に密着し内浦地区の魅力をより多く発信していきたいと思えます。

内浦地区についてはまだまだわからないこともたくさんありますが、皆さんにご理解、ご協力が得られるように精一杯頑張りますので、これからの付き合いの程よろしくお願いたします。

【主査 時岡裕之】